

足立区

【児童・生徒数】

42,510名（令和6年5月1日現在）

【学校数】

102校

【足立区の特徴】

- ・荒川をはじめとした豊かな水辺や自然環境、多くの名所旧跡に恵まれている。
- ・新線開通や大学誘致等の社会基盤の整備があり、活気に溢れた地域である。



【課題・改善】

- ・毎日運動やスポーツをする時間が30分未満の児童・生徒が **25.6%**
⇒体育科・保健体育科の授業改善により運動やスポーツの楽しさを感じさせることで、児童・生徒の運動の習慣化促進を図る。
- ・運動やスポーツをもっとしたいと思わない児童・生徒が **15.6%**
⇒地域のスポーツ資源を活用した多様な運動の機会を創出し、児童・生徒の運動やスポーツへの関心をさらに高める。

目標

- ・運動やスポーツをすることが好きな児童・生徒の割合の増加（90%）
- ・運動やスポーツをもっとしたいと思う児童・生徒の割合の増加（90%）
- ・毎日、合計60分以上、運動やスポーツをする児童・生徒の割合の増加（50%）

【成果】

令和6年度「Tokyo スポーツライフ」足立区プログラムを実施した児童・生徒を対象にアンケート調査（令和6年1月～2月実施）を行ったところ、次のような結果が出た。

- ① 運動やスポーツをすることが好きな児童・生徒の割合が **91.2%**
- ② 運動やスポーツをもっとしたいと思う児童・生徒の割合が **84.4%**
- ③ 毎日、合計60分以上運動やスポーツをする児童・生徒の割合が **48.5%**

【実態・課題】

- ・令和元年度から比較すると体力が全体的に低下傾向にある。
 - ・敏捷性や瞬発力、筋力については都の平均より高い傾向があるが、複数の種目の記録が都の平均と比べて低い傾向がある。
 - ・都平均に比べ、毎日60分以上運動やスポーツをする児童・生徒の割合が低い傾向にある。
- ※「東京都児童・生徒体力・運動能力等調査」（令和5年4月から6月実施）より
- ⇒児童・生徒の運動やスポーツへの興味・関心を高める。
 - ⇒運動習慣を定着できるようにする。

【取組】

【足立区プログラムの目的】

スポーツの関係機関や外部人材と連携した取組を充実させることで、運動やスポーツの実施頻度や意欲等の向上を図り、児童・生徒が健康で活力に満ちた生活をデザインすることができる資質・能力を育む。

【足立区プログラムの取組】

- | | |
|---------------------|------|
| (1)「投げ方教室」 | 5校実施 |
| (2)「ダンス教室」 | 5校実施 |
| (3)「器械体操教室」 | 5校実施 |
| (4)「任意の関係団体による出前教室」 | 5校実施 |

【取組（詳細）】

(1)「投げ方教室」

【講師】

群馬大学大学院医学系研究科准教授
ミズノ株式会社派遣講師

【内容】

ボール（エリプスセンス）を使い、手を動かす運動を行うことにより、バランス力・遠くに投げる力・運動技能を伸ばす。



(2)「ダンス教室」

【講師】

CENTRAL SPORTS 株式会社派遣講師

【内容】

様々なジャンルのダンスステップを初心者・初級者向けに指導するとともに、音楽とふれあい、ダンスを踊ることで、ダンスの基礎的な「リズム感」「柔軟性」を身に付ける。



(3)「器械体操教室」

【講師】

CENTRAL SPORTS 株式会社派遣講師

【内容】

鉄棒・跳び箱・マット運動をはじめ、ボール運動等にチャレンジすることで、総合的な運動能力を養う。（内容は学校ごとに相談）



(4)「任意の関係団体による出前教室」

【講師】

学校が定める任意の関係団体による講師

【内容】

- ・ダンス教室（現代的なリズムダンス）
- ・なわとび教室（2校）
- ・投げ方教室（2校）

